

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	村尾 裕一		
居室	西9 - 801		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>情報化社会における必須のツールとして位置づけられているコンピュータを、大学における学習、研究の道具として使いこなすために必要な知識について、実際にコンピュータを操作しながら与えられた課題を解決していくことを通して学びましょう。</p> <p>具体的には、総合情報処理センターのUNIXシステムを用いて、ファイルの操作法、電子メールやWWWなどによるインターネットを介したコミュニケーションの方法、文書の清書法を学び、情報の伝達・蒐集・整理・発信の方法を修得します。</p> <p>リテラシー (Literacy) とは「読み書きの能力」という意味です。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>教科書：</p> <p>(一昨年度まで：UNIX入門として) 渡辺 成良，若月 光夫，織田 健 共著。</p>

「UNIXコンピュータリテラシー」第2版 - ネットワーク時代の計算機利用とモラル - .

共立出版，2001年 .

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

この授業では、MacOS及びUNIXとその利用法の説明からスタートし、キーボードとマウス・ウィンドウシステムの利用法の基礎、ファイルの操作、エディタによる編集、電子メール、WEBページの記述法、文書の清書法について、簡単な講義と実習を行います。

- ・ MacOSとUNIXの入門
- ・ 基本事項：ログインとログアウト。キーボード、マウス、ウィンドウの基本操作
- ・ パスワードの管理
- ・ エディタの利用法
- ・ 電子メール
- ・ ファイルと基本コマンド
- ・ WEBページの作成
- ・ 文書の清書

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

演習課題(日本語入力とファイルの作成、電子メール、ファイルとコマンド、WEBページの作成、清書の5課題)の結果を総合的に評価する。

(b) 評価基準：

合格の最低基準は、上で示した5つの課題で求める基本操作が日常的に滞りなく行えるようになっていること。

電気通信大学 平成19年度シラバス

--

【オフィスアワー：授業相談】

授業は実習を進めながら行うので、質問・相談はできるだけその時間中にうけることとし、

オフィスアワーは特に設けない。質問等は適宜電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

学生の皆さんは既に Windows等のパソコン環境を使いこなしているかもしれませんが、本科目ではMac OSを使用し、一部UNIXシステムとしても利用します。使いにくいと感じるかもしれませんが、それは慣れです。今日のネットワークやソフトウェアの便利な使い方の基礎を提供したのはUNIXであり、単に使い方を覚えるのではなく、その原典にふれ真髄を理解することが大事です。

欠席しないこと。講義はスケジュールに従って進められるので、欠席すると取り残されます。

遅刻しないこと。特別な事情のない遅刻は、大きな減点の対象となります。

レポート提出等の締め切りは厳守すること。

【その他】

--